

# 交通事故防止情報

平成30年7月27日

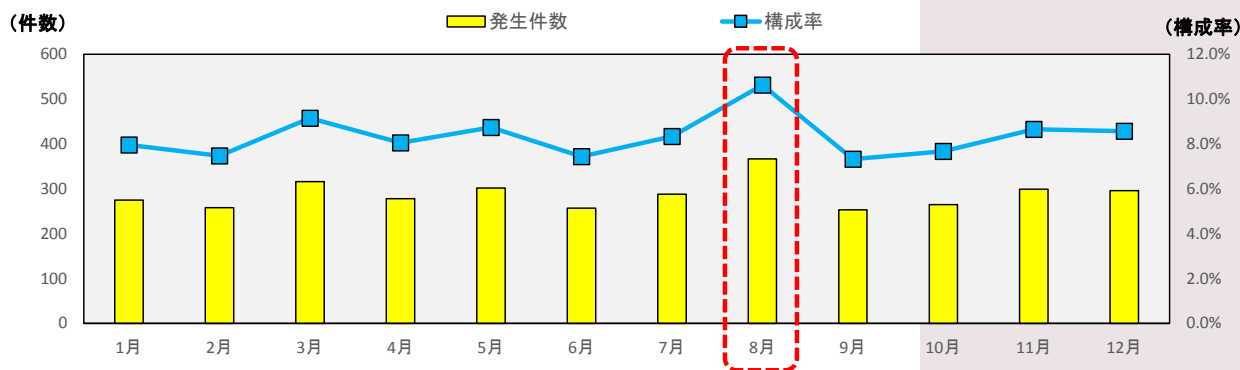
三重県警察

## 夏季の交通事故防止【観光×暑さ×事故の話題】

### ■特徴1 8月は観光等目的事故の発生が多い！！

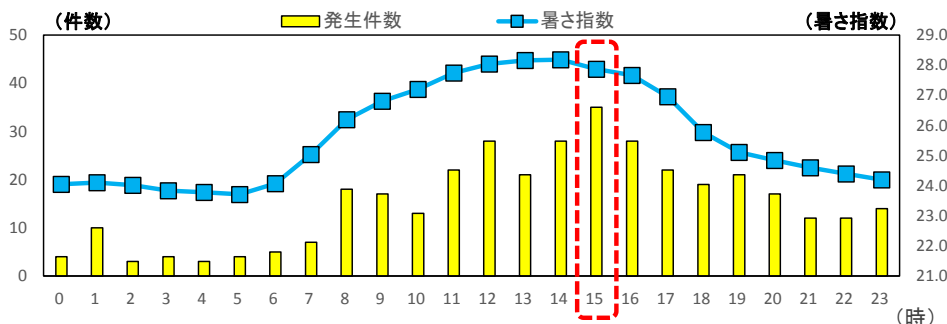
※ 観光等目的事故とは、原付以上第1当事者の通行目的が「観光・娯楽」「ドライブ」「帰省」の事故をいいます。

#### ● 観光等目的事故の月別交通人身事故発生状況(平成25年～29年)



### ■特徴2 時間帯は15時台が最多！！

#### ● 8月中の観光等目的の時間帯別交通人身事故発生状況(平成25年～29年)



暑さ指数については平成27～29年の各8月、津市で観測された時間帯別の速報値の平均値を算出して掲載  
 ■参考HP <http://www.wbgt.env.go.jp>「熱中症予防情報サイト」～環境省～ から引用

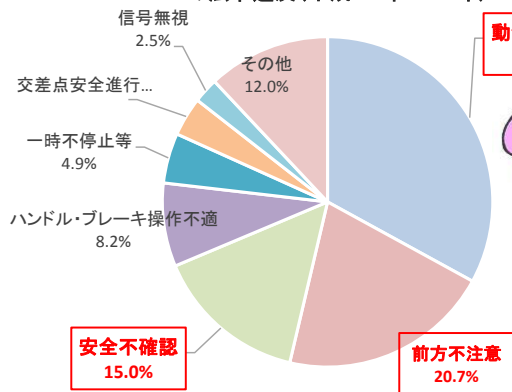
★ 暑さ指数とは熱中症を予防することを目的として、1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ『℃』で示されますが、気温とは異なり、人体と外気との熱のやりとりに着目した数値で、熱中症の予防に対し

- 31℃～ 『危険』
- 28～31℃ 『嚴重警戒』
- 25～28℃ 『警戒』
- ～25℃ 『注意』

と示されています。(※日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針」) 時間帯別の交通事故発生状況は15時台が最も多発する時間となります。

### ■特徴3 原因は『漫然運転』が約7割！

#### ● 8月中の観光等目的の交通事故の法令違反(平成25年～29年)



#### ★事故の原因のトップ3は、

- 1位 動静不注視 33.0%
- 2位 前方不注意 20.7%
- 3位 安全不確認 15.0%

です。いずれも、人の注意力に起因し、注意力の低下による漫然とした運転が、全体の約7割の事故の原因となっています。うだる暑さや疲労で、ヒトの感覚は鈍磨になり、注意力散漫となったときや確認が不十分なときに事故を起こしてしまう現実が容易に想像できますね・・・。

夏季は、夏休みやお盆休みなどで、レジャーや帰省等の外出機会が増えるほか、行楽等の交通量の増加による渋滞や暑さで疲労がたまりやすいことから、**漫然(疲労)運転**による事故の発生が懸念されます。

自動車を運転する方は、こまめに休憩をとり、緊張感を持った運転を心掛け、安全運転に努めてください。

